

第1回 学校運営協議会 議事録

日時 : 令和5年5月17日(水) 14時30分~16時

場所 : 明保中学校 ICT教室

出席者 : 会長 妹尾 久雄
副会長 早乙女 勇一
コーディネーター 小野 修平
委員 鈴木 綾
委員 友田 弓子
委員 澤井 稔 (校長)
委員 矢崎 慶 (副校長)
海老塚京子 (教員)
小川 壮司 (教員)

1 校長あいさつ

6月3日に運動会を予定している。コロナ前の形に戻して開催する。
委員の皆様にも、子どもたちの様子、教職員の姿を見ていただきたい。

2 委員・自己紹介

3 会長・副会長選任

4 令和5年度学校経営方針の承認

本協議会は、この学校経営方針について全員一致で承認する。

5 令和5年度の地域学校協働活動について

(1) コーディネーターより

①これまでの取組について

- ・学校応援団プロジェクト第1弾「玄関扉のペンキ塗り」(2022.2.23・26)
- ・学校応援団プロジェクト第2弾「玄関扉(裏面)・靴箱のペンキ塗り」
(2022.7.29・8.1)
- ・地域学校協働活動アイデア出しワークショップ(2022.10.15)
- ・アイデアのまとめ(2022.11.4)
- ・親子でタケノコを掘ろう!(2023.4.16)

②令和5年度の活動方針について

- ・生徒の主体的な参画、協力者の確保、情報発信を柱に地域学校協働活動を推進する。
- ・具体的な取組案

卒業生を中心とした交流イベントの企画
北東部地域協力ネットワーク「ほくっとネット」への参画
既存の団体や関係機関との情報交換
アプリ（BAND）を活用した連絡体制の構築

③レクリエーション企画（2年有志との協働活動）について

アイデア出しワークショップで出されたもの（スポーツ大会等）を2年生中心に企画し、これまでの取組に関わった卒業生や地域住民等にも呼び掛けて実施する。

先生：レクリエーション企画としていろいろなアイデアが出ているが、2年生の総合的な学習の時間内では実現することは難しい。代表生徒が放課後に活動することになることを考えると、コーディネーターの力をお借りしたいと思っている。

委員：スポーツ大会では具体的には何をするのか。

委員：未定である。子どもたちでどういう企画にしたいかを話し合っ、その中でどんなレクリエーションにするか決めてほしい。

委員：全部子どもたちに任せるのか。

委員：なるべく口出ししないようにしたい。

委員：東小の育成会で、12月に冬まつりを行う予定である。そこでも、明保中の生徒主体でやってほしいが、子どもたちにどう思われるか心配している。

委員：有志が集まって何をやるか考えるため、心配ないと思う。

(2) 学校より

学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画について

①本校の部活動の現状と今後

本校の現在の部活動体制は、顧問、部活動指導員、外部指導員となっており、持続可能な体制にはなっていない。教員の働き方改革の継続と生徒の充実した活動環境の確保を考えると、部活動体制の改革は喫緊の課題である。運営委員の皆様にもこの事実を認識していただいて、改革の必要性をアナウンス

メントしていただきたい。

②問題点

令和5年4月から始まっている部活動改革推進期間（3年間）に学校としての方向性を示さなければ、生徒、保護者の信頼を失い、積極的な協力を依頼する教員に対して具体的なビジョンを示すことができない。

③解決策

学校のできる解決策の1つとして、学校運営協議会において、最重要課題として取り上げ、既存のスポーツクラブ等との協働や新たな地域人材（潜在的部活動指導員）を発掘できる組織の立ち上げを目指す。

委員：活動日は部によって違うか。

副校長：部によって違い、平日は4日以内（2時間）、土日はどちらか1日（3時間）となっている。

委員：試合の時は違う扱いになるのか。

副校長：公式戦等の都合で変更になることはあるが、基本的にはこの扱いになる。

委員：部活動指導員と外部指導員の違いは何か。

副校長：部活動指導員は基本的には顧問なしで部活動を運営する資格が与えられている（大会等で生徒の引率ができる）が、外部指導員は顧問と連携・協力しながら部活動の指導ができる（単独で指導できない）。

委員：これから中学校に入って来るお子さんや保護者は部活動指導員、外部指導員に対して大きな期待をしている。

委員：技術指導ができることが前提として、人として信頼できる人に依頼しなければならない。

副校長：部活動改革推進期間が始まっていますが、教員の立場と子どもたちの活動の確保の両方の視点から改革を進めていきます。皆さんの忌憚のないご意見を聞かせてください。

※ 次回 第2回学校運営協議会 令和5年7月26日（水） 9:00～